

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	コンビニ（経営者） 住宅販売会社（商品開発担当）	お客様の様子 来客数の動き	・客の買物をする様子が明るくなっている。 ・2月よりは3月、3月よりは4月と、来客数や問い合わせが増えている。前年のこの時期と比べても、増えている。
	変わらない	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・客の動向としては基本的に大きな変化はみられない。依然として高額品や衣料品を中心に動向が上向かず、低迷している。
		スーパー（販売企画担当）	来客数の動き	・特売日に客数が増え、通常日には減るという状況であるが、その差が大きい。特売品を買いだめしてそれ以外は必要な物だけ購入する生活防衛意識がみられる。
		コンビニ（経営者）	競争相手の様子	・競合店の影響が3か月前から固定化している。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・天候により商品の売行きは上下するが、依然タスポ効果で客数が増えた分、売上も前年より上がっている。しかし客単価は前年並みであることから、必要な物だけを買うという購買パターンは変わらず続いている。
		コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・以前より顕著に客数が天候に左右される様になっている。どちらかというを買物を控える動きがみられる。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・例年連休前は来客数が落ちるので、セール、イベント外商をまめにやっているが、既存店の平日の来客数をなかなか増やすことが出来ない。観光客の来客数も落ちてきている。しかし、最近オープンさせた新店舗では、低価格、独創性が受けて地元客が結構入っている。
		観光型ホテル（商品企画担当）	来客数の動き	・3、4月の稼働率共に前年に対して約12%程度落ち込んでいる。
		旅行代理店（代表取締役）	競争相手の様子	・ゴールデンウィークを前に、旅行業界では沖縄への集客状況が非常に悪い。円高によって海外へ流れる人と高速道路料金引下げによって近場の旅行に流れる人がおり、航空便、ホテル共に例年に比べ空きがある。
通信会社（店長）	販売量の動き	・新規の客は前年並みにあるが、買換えの客が減っている傾向は変わらない。ここ数か月は落ち込みが増している様子は無い。		
観光名所（職員）	来客数の動き	・施設利用者数は、3か月前の1月、今月とも前年同月比ではほぼ同じ率で、落ち込んでいる。このことから4月の沖縄県への入域観光客数も前年同月比で落ち込んでいるものと推測される。来園者は修学旅行、一般団体等が中心である。		
やや悪くなっている	一般小売店〔鞆・袋物〕（経営者）	単価の動き	・客はより慎重になり、何度も足を運んでから買物をしていく主婦もいる。単価も下がってきている。	
	家電量販店（総務担当）	販売量の動き	・いったん持ち直しかけたのだが、エコポイントなどの追加経済対策を前にしての買い控えが顕著である。	
	その他専門店〔書籍〕（店長）	それ以外	・大手の出版社がまた倒産した。出版社の倒産件数は過去最悪になった。出版業界自体が過去最低の売上を記録するなど明るい兆しがみえない。	
	ゴルフ場（経営者）	販売量の動き	・県内ゴルフ業界は、外資系を中心に料金の値下げをしている。基本的には単価を安くしても客が入らないという状況がある。	
	その他のサービス〔レンタカー〕（営業担当）	来客数の動き	・年明けから4か月連続して、観光客のレンタカー利用が前年を下回っている状況にある。県の入域観光客数の減少が今月も予想される。	
悪くなっている	商店街（代表者）	競争相手の様子	・市の中心街エリアは、ほとんど観光客向けに店が変わりつつあり、お互い客を取り合って売上がダウンしているという話がよく聞かれる。	

		衣料品専門店 (経営者)	お客様の様子	・前年の同時期と比べて、街に人の数がかなり少なくなっている。それに付随して、客の数もかなり減っている。
		その他専門店 [楽器](経営者)	販売量の動き	・今月から前年比の売上が大きく減少している。大通りの商店街の通行客も減少している。ゴールデンウィークと政府の景気対策に期待したい。
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	-	-	-
	変わらない	輸送業(代表者)	受注量や販売量の動き	・県内の一地域を中心に出た公共工事の土木関連も一段落したが、新建築基準法移行問題も徐々に解消されつつあり、学校関係の建築工事が出ている。
		会計事務所(所長)	受注量や販売量の動き	・不動産の賃貸においても、コスト削減という理由での退去が多く、また新規入居も家賃低減などの交渉も多い。
	やや悪くなっている	窯業土石業(経営者)	受注量や販売量の動き	・新規工事予定物件が減少している。
建設業(経営者)		受注量や販売量の動き	・リフォームの契約件数が下落傾向にある。新築は横ばいである。	
輸送業(営業担当)		受注量や販売量の動き	・本土からの各種貨物量が減少傾向にある。また観光客の減少や総合スーパー、コンビニの売上不振、建設関係の落ち込みもみられる。	
コピーサービス業(営業担当)		受注量や販売量の動き	・4月の受注・売上は前年と比べて2割ほど落ちている。	
悪くなっている	通信業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・同業者から仕事の少なさによる余剰人員の受け入れ依頼の話が増えている。	
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	-	-	-
	変わらない	学校[大学] (就職担当)	求人数の動き	・求人に関しては、これからの景気動向次第で採用方針を決める、という企業が多いというのが現状である。そのため様子見で推移している状況である。
		-	-	-
	悪くなっている	民間職業紹介所 (人材紹介担当)	周辺企業の様子	・建築土木の新規受注の仕事が無い。特に北部地区に関しては、建築関連、その他の求人も非常に少ない状態である。
	学校[専門学校] (就職担当)	求人数の動き	・県内外の求人数は減少傾向で、特に県外製造系の求人は激減している。	